

# COMEINS（カムインズ）15年の歩み

宇都宮好博\*・岡田弘三\*\*・江口一平\*\*\*

- \* (財) 沿岸技術研究センター 波浪情報部 業務課長
- \*\* (財) 沿岸技術研究センター 波浪情報部 調査役
- \*\*\* (財) 沿岸技術研究センター 審議役

## 概要

昭和56年7月の運輸技術審議会の諮問第11号答申を受け、平成7年4月に財団法人沿岸技術研究センターに波浪情報部が設立され、直ちにCOMEINSの設計・開発・試運用に取り組んだ。初代COMEINSは専用回線・専用端末方式により双方向の情報通信を可能にし、平成9年2月に正式運用を開始した。その後インターネット技術の普及に対応し、第二世代COMEINSとしてCOMEINS Web版を正式運用するとともに、携帯電話を用いたCOMEINS on Mobileの運用も開始した。現在は、沿岸気象海象情報の多様化及び高度化に対応するとともに、操作性の利便性を追求した第三世代COMEINSの検討を開始したところである。本稿では、COMEINSの歩んできた15年の軌跡を紹介する。

キーワード：COMEINS, カムインズ, 波浪予測, 沿岸気象海象情報, NOWPHAS

表-1 COMEINSの主要な年表（部分）

年月	主な出来事
平成7年4月	CDIT内に波浪情報部を設置
平成7年5月	COMEINSのシステム設計開始
平成7年11月	CDIT内で試験運用開始
平成8年5月	旧運輸省第二港湾建設局鹿島港工事事務所常陸那珂工場にて現地適用試験を開始
平成8年8月	波浪ポイント予測の試験運用開始
平成8年12月	COMEINSシステム完成
平成9年1月	気象業務法第17条に基づく予報業務の許可を得る（予報業務許可第54号）
平成9年2月	COMEINSの正式運用開始



図-2 第二世代COMEINSのトップ画面（現在）



図-1 大型防災情報表示板（須崎港）



図-3 COMEINSデータベースのトップ画面